

2022年6月23日

一般社団法人 日本種苗協会  
副会長 油木 大樹 様

一般社団法人 食の未来システム創造協議会  
代表理事 金谷 幸一郎

(第2回)種苗推奨品募集のご案内

拝啓 貴協会ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、食の未来システム創造協議会（FFSA）は2021年4月より、施設を利用した第一次産業（太陽光型植物工場、人工光型植物工場 等）に関する種苗（果菜類・葉菜類を想定）の第1回推奨品募集を行い、2社（6品種）を推奨品として選定いたしました。

本年度は新たに6対象分野を加え、第2回推奨品募集を行っております。第1回募集にて設定した分野も引き続き募集を行っておりますので、種苗も対象となります。

FFSAは、日本や海外（特にアジア）での種苗販売を促進するため、FFSA推奨基準を設定し、有識者による厳正な審査により推奨品を選定します。

推奨品に選定された種苗は、FFSA推奨マークの使用及びFFSAによる下記支援策により、日本はもとよりアジア地区での販売拡大が期待されます。

- 1) 種苗以外の推奨品（植物工場関連設備）との連携による市場拡大
- 2) アジア地区起業家（植物工場設備購入希望者）への推奨品広報による非農家市場へのアクセス拡大

貴協会会員の中で日本を含むアジア地区の非農家市場での種苗拡販にご興味のある方には是非応募いただきたくご案内申し上げます。

敬具



## FFSA 推奨事業（第2回推奨品募集）について

2022年6月23日  
一社)食の未来システム創造協議会

一般法人食社団の未来システム創造協議会(東京都中央区、Future Food System Association 略称：FFSA)は、施設を利用した第一次産業、スマートフードチェーンの発展を目指します。そのための事業として日本の関連製品を、FFSA が定めた基準に基づき推奨品として選定する「FFSA 推奨事業」を開始し、2021年度は第1回推奨品の選定を行いました。

**2022年度、推奨の対象として新たに6分野を設定し、第2回推奨品募集を開始いたしますので、ご案内いたします。(2021年度の5分野も対象とし、継続して募集を行います。)本推奨事業への応募をご検討賜りますよう、お願い申し上げます。**

「FFSA 推奨事業」が目指すものは下記の通りです。

- 1) 施設を利用した第1次産業の設備・検査機器等の高度化
- 2) 商品の多面的な価値の向上
- 3) FFSA 推奨基準の普及を通じて、日本や海外（特にアジア）での推奨品の販売を促進し、付加価値が高い「食」を提供することで、世界の食生活を向上

選定された製品は、FFSA が定めた基準を満足する高い品質を有するものであり、協議会として推奨いたします。

### 1. 2022年度 新規設定対象分野

- 1) 検査分析機器（施設園芸・植物工場・養殖システム向け水質分析）
- 2) 養液栽培システム（施設園芸向け）
- 3) 栽培環境調節用機器（施設園芸向け）（※1）
- 4) 栽培環境改善資材（施設園芸向け）（※2）
- 5) 輸送環境測定機器（スマートフードチェーン向け）（※3）
- 6) 陸上養殖システム（魚類）

〈補足説明〉……………

（※1）施設園芸での栽培を前提に、栽培対象である野菜などが適切に生育するよう、栽培環境（温湿度・光環境・気流・空質・根域環境・防除など）を適切に設定するための機器を対象とします。例えば、温湿度を適切に設定する機器と

して農業用ヒートポンプエアコンなどが該当します。

(※2) 施設園芸での栽培を前提に、栽培対象である野菜などが適切に生育するよう、栽培環境（温湿度・光環境・気流・空質・根域環境・防除など）を改善するための資材を対象とします。例えば、温湿度環境を改善する資材として熱線遮断フィルムなどが該当します。

(※3) 保管環境管理を必要とする製品（農林水産物、食品、医薬品、工業材料等）の輸送を前提に、製品の品質維持に影響する環境（温度、湿度、衝撃など）について測定・記録する機器やシステムを対象とします。例えば、輸送中の温湿度環境を測定する温度計や湿度計、衝撃計、環境記録システムなどが該当します。

## 2. 2021年度より引き続き募集する対象分野

- 1) 人工光育苗設備（施設園芸・植物工場向け）
- 2) 環境制御装置（施設園芸・植物工場向け）
- 3) 衛生検査機器（人工光型植物工場向け）
- 4) 種苗（植物品種）
- 5) 養殖システム（海面魚類）

## 3. 選定方法

本事業において、選定基準作成及び応募候補の中からの推奨品の選定に関しては、下記5名の外部有識者からなる選定委員会での協議により行っております。

委員長	古在 豊樹	千葉大学名誉教授
委員	北澤 大輔	東京大学教授
委員	鈴木 克己	静岡大学教授
委員	糠谷 明	静岡大学名誉教授
委員	丸尾 達	公益財団法人園芸植物育種研究所 理事長

提出いただいた書類に基づき、選定委員による厳正な審査により選定します。

## 4. 推奨品の特典

選定された推奨品は、当該製品にF F S Aの推奨品である旨表示することができま

す。  
F F S A推奨品は「安全・安心、高品質の証」として、特に海外において、推奨品の認知度・信頼度を高め、正当な価格を維持した販売の基盤となるような顧客価値を創造します。

本事業の主旨をご理解いただき、本推奨事業への応募をご検討賜りますよう、貴社の関連部署へのお取次ぎをお願い申し上げます。

## ★2022年度推奨品の募集要項

(詳細はFFSAホームページを参照ください。<https://www.ffsa.jp/certification/>)

第2回推奨品募集について、プレスリリースにて公開いたしました。

(例)

PR TIMES <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000003.000075931.html>

JAcom <https://www.jacom.or.jp/ryutsu/news/2022/04/220407-58068.php>

JJJI.com <https://www.jjji.com/jc/article?k=000000003.000075931&g=prt>

マイナビ農業 [https://agri.mynavi.jp/prtimes/2022\\_04\\_06\\_190126/](https://agri.mynavi.jp/prtimes/2022_04_06_190126/)

財経新聞 <https://www.zaikai.co.jp/releases/1627469/>

フレッシュアイニュース <https://news.fresheye.com/prtimes/cpid/000075931/>

また、第1回推奨製品選定結果について、本会のホームページへの掲載の他、プレスリリースにて公開いたしました。

(例)

PR TIMES <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000075931.html>

スマートアグリ <https://smartagri-jp.com/news/3999>

### 【FFSA について】

FFSA は、2019年7月に任意団体として設立し、2020年4月に一般社団法人化いたしました。

産学官による連携活動を通じて食と健康を担保する日本の食関連産業を革新、拡大し、Society5.0の実現に貢献することにより、日本の食材と、関連するサービスを高付加価値化し、日本の食関連産業の事業拡大及び収益性強化に貢献することを目指し、海外事業支援、推奨・認証事業、政策提言事業に取り組んでいます。

### 【問い合わせ先】

一社)食の未来システム創造協議会

業務執行理事 佐藤嘉記 Tel: 050-3139-2177 または <https://www.ffsa.jp/contact/>